

◎オミクロン株の感染流行に備えた検査・保健・医療提供体制の点検・強化の考え方について (様式)

(静岡県: 令和4年1月24日時点)

1 (1) B.1.1.529系統 (オミクロン株) の早期探知と感染拡大防止策の徹底について		
(○×回答)		回答
	・ 1 (1) 記載事項の点検完了の有無	○
(自由記載)		
<p>オミクロン株の探知については、地方衛生研究所 (静岡県・静岡市・浜松市) で変異株スクリーニング検査を実施し、L452Rが陰性の場合、国立遺伝学研究所に依頼し、ゲノム解析を実施している。</p> <p>クラスターについては、できる限りゲノム解析を行い、重症化しやすいデルタ株の残存を注視している。</p> <p>また、急激な感染拡大に対応するため、宿泊療養施設について、新たに追加で1施設を稼働するとともに、協定締結済みの1施設についても稼働する。</p> <p>さらに、宿泊療養中の体調悪化に備え、一部の宿泊療養施設で健康観察モニタリングシステムを導入する。</p> <p><b>【宿泊療養施設の状況】</b></p> <p>稼働済: 7施設870室、増設: 1施設110室程度 (1月下旬予定)、協定締結済: 1施設90室程度 (2月上旬予定)</p>		
1 (2) 自宅療養者等への健康観察・診察の対応について		
(○×回答)		回答
	・ 1 (2) 記載事項の点検完了の有無	○
(自由記載)		
<p>計画策定段階において、保健所ごとに地域の医療関係者等との間で、自宅療養者の健康観察や体調悪化時の受診先などについて協議・決定済</p> <p>健康観察業務を県看護協会に委託する外、協力医療機関 (320箇所) でも健康観察を実施</p> <p>○ (p.3) 地域の医療機関等 (特に、当該患者を診察・検査した診療・検査医療機関) が、自ら診断した自宅・宿泊療養中の患者の健康状態の確認を行い、必要に応じて電話等による診察を行う体制の検討・要請</p>		
(○×回答)		回答
	・ 当該体制の検討・要請の有無	○
<b>【自宅療養者治療に関与する医療機関数】</b> ※以下の行に11月末時点と検討後の数値を入力ください。		
↓	2021年11月末時点	210箇所
	体制検討後	402箇所
(自由記載)		
<p>自宅療養者の治療等に協力可能な医療機関については、計画策定時の想定必要数 (210箇所以上) の2倍近い402箇所を確保できているが、感染状況等を踏まえ、関係団体等を通じて医療機関に対して改めて協力を要請していく。</p> <p>また、MyHER-SYSや自動架電システムの活用を含め、医療機関ではない事業者 (県保健所の場合は県看護協会) への外部委託により、健康観察業務実施体制の強化を行っている。</p>		
○ (p.3) 計画において、想定する自宅療養者数をゼロと見込んでいる県について、オミクロン株の流行による感染者の大幅な増加に伴い、自宅療養者が発生する場合も想定した際の健康観察・診察の体制の構築を検討		
(○×回答)		回答
	・ 当該体制構築の検討の有無	—
(自由記載)		

12月28日付け「オミクロン株の感染流行に備えた地域の医療機関等による自宅療養者支援等の強化について」

1. 自宅・宿泊療養者が安心して療養できる体制構築の確認について

(○×回答)	回答
・パルスオキシメーターを自宅療養開始当日ないし翌日に配布する体制の構築完了の有無	○
【パルスオキシメーター確保数】（1月24日時点）	13167個

(自由記載)

パルスオキシメーターの速やかな貸し出しのため、保健所からの貸し出しに加え、従前の帰国者・接触者外来など主要な医療機関において陽性判明時に貸し出しを行っている。

さらに、貸出・回収に伴う保健所業務負担軽減等のため、貸出・回収作業について外部委託化を行っていく。

なお、パルスオキシメーターは計画策定時点の確保予定数（10,058個）以上に確保済で、今後も感染状況に応じて追加確保していくとともに、自宅療養者の急増によりパルスオキシメーターが不足する地域がでないよう、県・政令市で在庫を融通し対応する。

1 (3) 検査体制の確保について

○ (p.4) 陽性者や濃厚接触者等の急増時に、行政検査の特例（陽性者が確認された事業所による濃厚接触者候補範囲の特定、医師による陽性者の同居家族等への検査）を即座に活用できるよう保健所の業務体制・手順等の点検

(○×回答)	回答
・保健所の業務体制・手順等の点検完了の有無	○

(自由記載)

保健所の業務体制について、患者の発生数に応じた必要な応援要員数を整理し応援要員のリストを作成。当該リストに基づき、応援職員を保健所に投入済

陽性者が確認された事業所による濃厚接触者候補者の特定については、事業所向けのチラシを作成しHPに掲載済。

また、検体の郵送による検査等を活用した検査業務の外部委託化に向けて調整中。

○ (p.4) 検体採取体制について、地域の医師会等と連携し、診療・検査医療機関や地域・外来検査センター等の体制が確保されるよう点検

(○×回答)	回答
・検体採取体制の点検完了の有無	○

(自由記載)

最大検体採取対応力は29,509件/日と、第5波の最大検査件数5,137件/日の5倍以上の検査数にも対応できる体制を整備済

○ (p.4) 検査分析体制について、即座に対応可能な体制が確保されていることを点検

(○×回答)	回答
・検体分析体制の点検完了の有無	○

(自由記載)

最大検査能力は32,775件/日（PCR検査6,849件/日、抗原定量検査7,726件/日、抗原定性18,200件/日）と、第5波の最大検査件数5,137件/日の6倍以上の検査数にも対応できる体制を整備済

○ (p.5) 感染拡大の傾向が見られた場合に、クラスターが発生している地域において、感染が生じやすい場所・集団等に対する検査や高齢者施設等の従事者や入所者等に対する一斉検査等を即座に実施できる体制等を準備

(○×回答)	回答
・一斉検査等を即座に実施できる体制等の準備完了の有無	○

(自由記載)

高齢者施設等に対しては、抗原定性検査キットを配布済

また、感染の不安のある者に対する無料検査を12/28から実施中。

1 (4) 経口治療薬の迅速かつ適切な供給の確保について	
(○×回答)	回答
・ 1 (4) 記載事項の点検完了の有無	○
(自由記載)	
<p>1/17時点で新型コロナウイルス感染症患者等に対応可能な薬局は576箇所。うち381箇所が経口抗ウイルス薬の在庫配置済。</p> <p>一般病院でも入院患者の陽性が判明する事例が出てきていることを踏まえ、県内の病院及び有床診療所に対して、速やかな経口治療薬の投与が可能となるよう、登録等の対応を依頼するとともに、在庫未配置の薬局に対して、経口抗ウイルス薬の在庫を配置するよう改めて依頼</p>	
1 (5) 計画で確保した病床の稼働のためのフェーズ引上げについて	
(○×回答)	回答
・ 1 (5) 記載事項の点検完了の有無	○
・ フェーズ切替えの前倒しの有無	○
・ 振り分けの考え方の切替えの迅速化の有無	○
(自由記載)	
<p>1/13に病床フェーズをフェーズ1 (410床) からフェーズ2 (512床) に引き上げ、入院医療機関に対して即応病床への速やかな切り替えを要請済 (2/2を目処に切替完了予定)</p> <p>病床フェーズ3 (最大確保病床数) の751床への引き上げについては、今後の感染状況や一般医療のひっ迫状況を勘案した上で、入院医療機関と調整し改めて判断</p> <p>なお、臨時医療施設は、レベルIIIでの稼働予定 (75床)。稼働に向けて準備中</p>	